

今冬の根雪は遅い？

今年1月初旬、町の方から「こんなに雪が降らないのは初めてだ」という声を聞きました。確かに年が明けても雪がほとんど積もらず、1月の中旬の降雪で本格的な積雪量が記録され、ようやく只見らしい雪の季節を実感したところかもしれません。こうした雪の季節の訪れを表す一つの事象として「根雪」という言葉があります。皆さんにも馴染みのある言葉かと思えます。気象庁の用語としては厳密な定義があります。「長期積雪」とも呼ばれ、積雪が30日以上継続する状態のことを言います（ただし、積雪が10日以上継続した後、5日以内の無積雪期間があっても、その後10日以上積雪がある場合も含まれます）。また、その始まりの日は根雪開始日と呼ばれます。今回はこの根雪開始日を使って今年の只見の根雪が遅いのかどうかを調べてみました。只見振興センターの近くにアメダス只見観測所がありますが、そこで観測された1990年秋から2014年春の24回の冬のデータをもとに過去の只見町の根雪開始日を見てみましょう。最も根雪開始日が多かった月は12月で、上旬に7回、中旬に5回、下旬に7回ありました。最も早い根雪開始日は、1993年11月24日で、11月に根雪開始日があった年は1995年、2000年、2005年でした。逆に最も遅い月は1月で、1997年と2008年のそれぞれ1月4日と1月3日でした。このように根雪の開始日は年によって大きく



▲日陰に雪は残っているが、ほとんど雪は見られない。
(2016年1月4日時点の写真)

変動するようです。また、10年前後の間隔に1度程度、根雪が1月に始まることわかりました。ところで、今冬というと12月後半から断続的に雪が降っており、根雪開始日は12月27日頃になると思われます。過去のデータと比べると比較的遅い根雪開始日になりそうです。統計的なデータを使えばこうした結果になりますが、皆さんの実感としてはいかがでしょうか？

企画展示

「只見町の生物多様性を考える」

期 間：2月29日まで開催中

自然観察会

「冬の鳥の観察会」

日 時：3月12日(土)

※時間や場所など詳しくは、おしらせばんなどで周知します。

ブナセンター講座

「葉と花の戦略と絶滅危惧種の保全」

日 時：3月13日(日) 13:30~15:00

講 師：鷲谷 いづみ氏(中央大学)

詳しくは、
只見町ブナセンター
までお問い合わせ
ください